

講義名称	子どもの保健	担当教員名	丸山 憲一
科目群	専門科目 (M)		
科目区分等	保育の対象の理解に関する科目 (UC) 選択	単 位	2
対象学年次	1年・春学期	ナンバリング	CMUC1114

授業のキーワード	子どもの健康、子どもの発育と発達、子どもの病気とその予防
授業の概要	子どもの精神的、身体的な健康状態を発育、発達の観点からとらえ、成長の過程でみられる子どものおもな病気の症状、治療、予防などについて学びます。
期待される学習成果 (目標)	保育者として子どもの成長に応じた健康状態の評価ができるようになること、ならびに子どもがかかりやすい病気について理解し、適切な対処ができるようになることを目指します。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	子どもの健康と保健	子どもの健康の概念と保健統計
2	子どもの感染症1	感染症の原因、ウイルスよる子どもの感染症
3	子どもの感染症2	ウイルスよる子どもの感染症、細菌よる子どもの感染症
4	感染症の予防	細菌よる子どもの感染症、家庭、施設内での感染対策、ワクチンよる感染予防
5	免疫の発達とワクチン	感染に対する防御機能、ワクチンよる感染予防
6	子どもの発達と神経・精神疾患1	子どもの神経発達と神経疾患
7	子どもの発達と神経・精神疾患2	子どもの神経疾患と発達障害、精神疾患
8	子どもの栄養と消化器疾患1	新生児期から幼児期の栄養と子どもにみられる消化器疾患
9	子どもの栄養と消化器疾患2	子どもにみられる消化器疾患、腹部の疾患
10	子どもの呼吸器・アレルギー性疾患	気管支喘息、アトピー性皮膚炎などのアレルギーよる病気の症状と対処法、呼吸器疾患
11	成長と内分泌代謝性疾患、循環器疾患	子どもの成長の特徴と子どもでみられる代表的なホルモンの病気、心臓の異常
12	血液疾患、腫瘍性疾患、腎・泌尿器疾患	子どもの血液の病気、腫瘍、腎臓などの病気
13	新生児疾患、遺伝と先天異常	早産児、低出生体重児、新生児疾患、遺伝的要因、環境要因によつておこる先天異常
14	子どもの眼科、耳鼻科、整形外科疾患	子どもによくみられる眼科、耳鼻科、整形外科疾患
15	乳児突然死症候群と児童虐待	乳児突然死症候群、児童虐待、養育上の問題

定期試験	筆記試験
授業時間外学習	第1～5週では感染症とその予防、第6～9週では発達と神経精神疾患、栄養と消化器疾患、第11～15週ではその他の子どもの疾患について、教科書、参考文献、小児科関連学会のホームページ等で学習を深める。
評価方法	定期試験100%
使用する教科書 (必ず購入してください)	大澤眞木子 監修「保育者・養護教諭を目指す人のための子どもの保健～健康と安全～」 (日本小児医事出版社)
参考文献	及川郁子、草川 功 編著「シードブック 子どもの保健」 (建帛社) 堀 浩樹、梶 美保 編著「保育を学ぶ人のための子どもの保健」 (建帛社) 中根淳子、佐藤直子 編著「子どもの保健」 (ななみ書房)